

申6号「機械設備関係のグループ会社再編」 に関する申し入れの交渉を実施！

設備管理の技術集団としての位置付けを明確に！



◇確認事項◇

【施策との整合性・JRの位置付け】

- 品質管理業務の位置付けは変更せずデータの分析結果を導き出す過程にJRとして関与していく。

【JRの技術力をどのように保持するのか】

- 委託拡大による業務を補完するため、現場に自ら出る取り組みを展開していく。

【保全会議の充実について】

- 保全会議の主体はJRであり、今まで以上に安全・管理の視点を強めていく。

安全担当者・財産担当者を保全会議に参加させることを確認！

【直轄設計について】

- 首都圏は業務量増加に伴い直轄設計が出来ないことから、技術力向上のため直轄設計の割合を増やしていく。
- 地方は直轄設計を実施しているが特定の機械に偏らないように取り組んでいく。

融雪機の設計を行うことを確認！

【育成プランとの整合性と出向について】

- 若手育成項目の実施において委託拡大により影響があることから育成プランの項目の見直しを行う。

若手が保全会議に出席することを確認！

- 今回のグループ会社再編は出向を前提としたものではない。

人材育成における出向を行わないこと確認！

【現業機関と支社の統合について】

- 技術センター・支社の規模などを考慮し統合を行う。
- 派出のある技術センターは統合しない。
- 統合された場合のグループ名及び業務内容は変更しない。